

東京産業考古学会主催

研究会「岐阜の産業遺産の調査・保存と活用」

■岐阜県の主要な産業遺産を映像により紹介するとともに、岐阜産業遺産調査研究会の保存・公開や文化財指定への積極的な活動について報告します。
一般の方のご参加も歓迎します。

日時：11月12日（土） 15:00～16:30

会場：物流博物館2階（港区高輪4-7-15 TEL:03-3280-1616）
○JR品川駅高輪口、京急品川駅から徒歩7分

テーマ：「岐阜の産業遺産の調査・保存と活用について」

講師：岐阜産業遺産調査研究会事務局長

高橋 伊佐夫 殿

ご講演で取り上げる予定の主な産業遺産は次の通りです：

1. 五六川に現存する五六閘門
2. 古川家の自家水力発電装置
3. 小宮神発電所の旧水車・発電機
4. 国産初の水力発電用縦軸水車
5. 北濃駅に現存する最古級の転車台
6. 揖斐川に現存する東海道本線初代の鉄橋

参加費：1000円（入館料、資料代込み）

■主催：東京産業考古学会

■後援：セルロイド産業文化研究会

■お問合せ・申込み先：平井東幸

TEL・FAX: 047-371-7401

e-mail:hirai-ty@helen.ocn.ne.jp